

### 第3回「万葉集を楽しむ会@花奈雅和（かながわ）」のご報告

10月16日に第3回万葉集を楽しむ会@花奈雅和が開かれました。今回も他の教室に参加された方が5名いましたが、@花奈雅和では3名の初参加者を加え、16名の参加となりました。

今回のテーマは「ナデシコ（撫子、石竹、瞿麦）」。日本人には秋の七草のひとつとしてなじみの深い花ですが、実はいろいろな種類があります。カワラナデシコ（河原撫子）、カラナデシコ（石竹）、カーネーションもナデシコの仲間です。イギリスによく見られるタツタナデシコは英名が「pink」で、「pink」はもともと、花の名前だったそうです。



カワラナデシコ



カラナデシコ(石竹)



カーネーション



タツタナデシコ

万葉集で一番多く取り上げられているのは萩の花ですが、ナデシコも26首歌われています。そのうち11首が大伴家持の歌で、いかにナデシコが好きだったのかわかります。

（原文）石竹之 其花尔毛我 朝旦 手取持而 不戀日将無

（訓読）なでしこの その花にもが 朝な朝な手に取り持ちて 恋ひぬ日なけむ

（意味）あなたがなでしこの花であったならどんなにうれしいことだろう。朝が来るたびに手に持ってそれでも恋しく思うだろう。

3/408 大伴家持

越中（富山県高岡）に単身赴任していた家持が奈良に残した妻を思った歌ですが、もう一首、先生が一番好きな家持のナデシコの歌をご紹介します。

なでしこが 花見るごとに 娘子らが 笑まひのにほひ 思ほゆるかも 18/411 大伴家持

なでしこを見るたびに愛しいおとめ（ここでは妻のこと）の笑顔のあでやかさが思われてならないという、どちらも愛情あふれる歌です。ナデシコは可憐な女性にたとえられています、万葉集では男性から男性に送った歌もあります。

（原文）射目立而 跡見乃岳邊之 瞿麦花 總手折 吾者将去 寧樂人之為

（訓読）射目立てて 跡見の岡辺の なでしこが花 ふさ手折り 我は持ちて行く 奈良人のため

（意味）跡見の丘のなでしこの花を折り取って束にして持っていきます。奈良の都の人に。

8/1549 紀鹿人（きのかひと） 紀子鹿女郎の父

射目とは狩りの獲物を一時的に置いた場所のことで跡見の枕詞です。「奈良の都の人」が女性か男性かどういった人だったかはわかっていません。

ナデシコは「枕草子」にも「源氏物語」にも出てきます。●草の花は撫子、唐（中国）のはさら

なり、大和（日本）のも、いとめでたし（枕草子〔六十四〕）からなでしこは言うまでもないがやまとのなでしこもとてもすばらしい●御前に乱れがはしき前裁なども植桑させたまわず撫子の色をととのへたる、唐の、大和の、籬（ませ）いとなつかしく結ひなして 咲き乱れたる夕ばえ、いみじく見ゆ。（源氏物語「常夏」26帖）庭先には雑多な前裁などは植えさせなさらず、撫子の花を美しく整えた唐撫子、大和撫子の垣をたいそう優しい感じに造ってあり、その咲き乱れている夕映え、たいそう美しく見える。

ヤマトナデシコはカラナデシコとの対比で使われていた言葉であり、芯が強く清楚な美しさを称える言葉としての「大和撫子」という意味は当時ではなかったのです。襲襲（かさね）の色目でも、大和撫子（表が紅、裏は薄紫）と唐撫子（表も裏も紅）は区別されています。襲の色目とは衣裳の表地と裏地の配色の組み合わせのことで、四季の移り変わりを敏感に感じ取り、身近な植物の色を衣裳の色で表現したもので、日本人の美意識の高さに驚かされました。

さて、ナデシコは秋の七草のひとつであり、有名な山上憶良の秋の七草の歌もみんなで唱和しました。先生からは98%の人が覚えられるというヒントを教えてくださいました。

#### 萩の花 尾花屑花 なでしこの花 をみなえし また藤袴 朝顔の花

萩、ススキ、なでしこ、おみなえし、藤袴、桔梗と、ただ、花の名前を並べただけなのに花という言葉が繰り返すこと、フジバカマの前に「また」という一語が効いてなんとも感性溢れる一首になっていること、先生は高校生の頃からこの歌に魅せられているとのことでした。

紀鹿人のナデシコの歌、山上憶良の秋の七草の歌も五七七を2回繰り返す形の歌です。これは旋頭歌（せどうか）と呼ばれるもので、初めて知りました。五七七の片歌を2人で唱和、問答することから発生し、柿本人麻呂は一人で詠作したそうです。万葉の時代を過ぎると急速にすたれませんが、万葉集には62首あります。その中から、愉快的問答の歌と後朝（きぬぎぬ）の別れに関連する歌をさらにご紹介いただきましたが、ここでは割愛させていただきます。

今回の先生の着物は銘仙。帯も帯留も撫子と撫子づくしで楽しませていただきました。お菓子も撫子の別名である「常夏（とこなつ）」という家持ゆかりの富山県高岡のお菓子でした。



銘仙の着物



ナデシコ（五弁で先が細裂）柄



帯



帯留



とこなつ(大野屋)

最後に出席して下さった方々の感想をすこし紹介させていただきます。

●最近見かけなくなったカワラナデシコを写真で見て昔を思い出しました。秋の七草の歌は知っていたが万葉集の歌とは知りませんでした●朝早く帰る夫を衣の裾を濡らして見送る妻の歌に、いつも振り返りもせず出かけていく夫を自分も追って見送りしてあげよか、と思いました。●後朝（きぬぎぬ）の別れの由来を知って、その時代の言葉の豊かさに心を打たれました●ナデシコという名前なので買ってみたら石竹でした。お花屋さんではカワラナデシコはまず見かけません●襲の繊細な取り合わせの美意識に日本ってすごい、と思いました●（質問）防人などが難しい万葉仮名を使いこなせたのでしょうか？（先生の答）防人になった人は地方豪族の下位に属する人たちが名前もあった。一応の教養があったと思われるが、上の位の人が助けたとも考えられる。



例会の様子①



例会の様子②



ランチ会(有志)

#### 第4回万葉集を楽しむ会@花奈雅和のお知らせ

開催日時：12月18日（水）10：00～14：00（ポットラック忘年会を予定）

場所： プララ杉田505号室（マンション棟）

参加費： 1500円（テーマにちなんだお菓子付き）

◎参加申し込みは下記へお願いいたします。

杉本啓子： [keni9ri@yahoo.ne.jp](mailto:keni9ri@yahoo.ne.jp)

※植物を意味するときは原則カタカナ使用。それ以外は文脈により、漢字、ひらがな使用。

令和元年10月30日 文責：三浦美智子・高木紀世子

~~~~~

#### 万葉集を楽しむ会@花奈雅和

講師： 吾意在野游・高木紀世子

世話役： 水野裕子（代表世話役）、杉本啓子（名簿管理）、三浦美智子（書記）  
多比良恵子（会計）

~~~~~

#### 追加情報

12月18日（水）10：00～にご都合の悪い方は下記に参加できます。参加ご希望の方は直接講師にご連絡ください。会費は同じ1500円です。 [paksara3t@r7.dion.ne.jp](mailto:paksara3t@r7.dion.ne.jp)

令和元年12月 3日（火）AM10:00～

12月 8日（日）AM10:00～

12月11日（水）AM10:00～

12月18日（水）PM7：00～

\*\*\*\*\*